

## 令和元年度事業計画

### 1 事業方針

- ・ 受注・販路開拓・新製品開発につながるようなマッチング・開発支援などを重視し、商談会・工場見学会等の交流機会を提供
- ・ 会員のニーズや最新の技術・市場動向を踏まえた情報提供・勉強会・セミナーの実施
- ・ 各研究会を横断した勉強会等の開催による異分野との交流・情報共有
- ・ 年間を通じ、コーディネータ等による会員企業間や研究者等との橋渡しなどのきめ細やかな支援を行うとともに、コーディネータ間で情報を共有し、企業間の結びつきを強化
- ・ 産学官金がタッグを組んだ、ビジネスにつながる事業展開の推進
- ・ 市場規模が年々拡大している IT 分野について、「次世代技術研究会」を「IT・次世代技術研究会」と改称し、研究会内に「IT コンソーシアム」を設置。(コーディネータ 1 名を配置)

### 2 各分野ごとの主な取組内容

#### (1) 次世代自動車研究会

- ・ 自動運転やシェアリングなどがもたらすモビリティ革命 (MaaS: Mobility as a Service) など、自動車のみならず変革する社会に関する情報提供を実施する。電動化 (脱エンジン) が進んでも車体自体が無くなることはなく、航続距離延長などより一層の軽量化に向けて樹脂等の新素材が多用されていくことに対応し、従来の摩擦攪拌接合を、マルチマテリアル化と加工・接合技術に拡充して、セミナーを実施する。
- ・ 新たな受注獲得を支援するため、大手自動車関連企業の工場見学・交流会を実施するほか、会員企業の生産性向上を支援するため、会員企業が保有する技術を紹介し、課題をもつ企業とのマッチング・連携を図る取組を実施する。
- ・ 製造現場の効率化などに関して、機械学習やロボットピッキングなどについて、その利活用を実際に体験する少人数の実習を実施する。(産業技術イノベーションセンター、IT・次世代技術研究会と連携)

#### (2) 環境・新エネルギー研究会

- ・ 会員企業の技術力向上及びビジネス機会創出につなげるため、テーマ・目的別の部会活動を時流に合わせてテーマ等を見直し、きめ細やかな支援活動を展開する。
- ・ 大手風力発電機器メーカーのソリューションサービス事業強化への転換にいち早く対応し、従来からの「風力発電の保守・メンテナンス」分野の取組を強化する。保守・メンテナンスや付帯作業等、幅広く会員企業の受注を支援する。また、産学連携体制による技術の高度化を図る。
- ・ 引き続き、関東経産局 (広域関東圏水素・燃料電池ネットワーク形成事業) や県産業戦略部技術振興局科学技術振興課 (いばらき水素利用ネットワーク) などの取組と連携するなど、会員企業の水素利活用分野等への参入を支援する。

### (3) 健康・医療機器研究会

- ・ 医療大学や筑波記念病院に加え、新たな病院・施設等のニーズを掘り起こし、マッチングを強化していく。
- ・ 当研究会及び連携事業である GNT 事業で開発した機器等を、東京ビッグサイト等で開催される大規模展示会に出展し、取引対象を全国に広げる。
- ・ 国は医療介護総合確保推進法に基づき、在宅医療・介護の推進に注力しており、当該分野についても、成長市場として見据えつつ、在宅医療・介護の現場ニーズ等に係る情報提供を行っていく。
- ・ 介護ロボットの開発・製品化に係る企業、大学、研究機関とのコンソーシアムの立ち上げを検討していく。

### (4) 食品研究会

- ・ 昨年度まで実施した「食品マッチングプラットフォーム」を基礎として、特定のテーマに基づき、マッチング活動・講演会・セミナー・見学会等を総合的に実施する「食品オープンプラットフォーム」に発展させる。
- ・ 食品研究会に所属する企業のニーズ・シーズを他の研究会と共有し、成長分野を横断した新商品・技術の開発や販路の拡大につなげる。
- ・ 個別の継続案件についてはコーディネータが引き続きフォローしていくとともに、プラットフォーム活動等を通じて得られたニーズ・シーズ等につき、他研究会も含め、幅広く橋渡しを行い、技術力・商品力の向上を図る。

### (5) IT・次世代技術研究会

- ・ 市場規模が年々拡大している IT 分野について、「次世代技術研究会」を「IT・次世代技術研究会」と改称し、研究会内に「IT コンソーシアム」を設置。(コーディネータ 1 名を配置)
- ・ 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業や、産業技術イノベーションセンター、IoT 推進ラボなどと連携をしながら、県内の IT 産業の活性化を図る。
- ・ IoT・ロボット等の導入の際に重要となる省力化機器等について、会員企業間等の受注マッチングの場を設け、販路拡大を支援するとともに、企業の IoT・ロボット導入を支援する。
- ・ IoT, ロボット, AI 等の先端技術動向や、IoT 推進ラボの関係機関で実施するセミナー等のイベント案内について、会員への情報共有を図る。
- ・ 製造現場へのロボットや IoT 導入に際し、ロボットや周辺装置の選定からシステム全体の調整までを担うロボットシステムインテグレーターの需要が急増しているため、ロボットシステムインテグレートビジネスへの新規参入、事業拡大に向け、経産省とロボット工業会で纏めたスキル標準に沿って基礎的な知識等の勉強会を実施する。

### (6) その他(新規ビジネス分野・分野横断的な取組等)

- ・ 新規ビジネス分野への参入の機会を提供するため、今後需要が見込まれる原子力関連施設の解体等につき、施設の見学会や廃炉の現状等に係る情報提供などを行う。また、日本原子力研究開発機構等へのヒアリングなどを通じ、技術的な課題やニーズなどに関する情報を収集し、県内企業の技術シーズを提案する。
- ・ 県内の金融機関等が開催するビジネス商談会や展示会等につき、会員企業の参加・出展等の促進を図る。